

第1回「(仮称) 郡上市男女共同参画推進条例」策定委員会 要録

期 日 平成29年7月13日(木) 19:30~21:00

場 所 郡上市役所 4階大会議室

出席者 アドバイザー 岐阜大学 新村昌治教授

策定委員 11名(和田康夫、大坪裕、上村ひとみ、村瀬一将、山下優子、池場利廣、河野奈穂子、平井美津枝、小島昭彦、武藤慎也、飯沼麻奈美)(欠席:三津橋聡乃) ※敬称略

日置市長、三島市長公室長、河合企画課長、酒井主査、和田

合計17名

1. 開会

2. アドバイザー・委員委嘱
市長より、委嘱書の交付

3. 市長あいさつ

男女共同参画社会を作っていくことは、難しく、奥が深いことであるが、一言で言うと、プランにあるように「男と女」とあるけれども等しく「人」でもあるので共に生き生きと暮らせる社会を目指していこうということである。男女共同参画については、国や県、市町村をあげて取り組んでいることであり、各自治体ではプランを策定して取り組んでいる。その取り組む上で、自治体において条例を策定して取り組むべきでないかという考え方がある。国においては国会で議決を経て法律を作る。それと同じで、自治体において法律に並ぶものが自治体の条例であり、それぞれの自治体の議会の議決において定められるのが条例である。条例は国の法律に匹敵するものであると考えていただければと思う。行政の首長が作って推進するというものであるが、そうして推進する場合に、郡上市の市民の代表からなる議会において、その基本理念や取り組み方などを議決をして条例という形で基本となるものを定めていくことに意義がある。男女共同参画社会の推進にとって条例制定は必須ではないが、より団体の意志として位置付けて推進していくことに意味があるのだと考える。そうしたことで郡上市も条例策定に取り組む。県内42市町村あるが、3分の1の14市町村が策定しており、郡上市も取り組みたい。パブリックコメントなどを経ながら市議会の議決において条例を制定するものである。条例とか法律とか堅苦しい感じはするが、男女共同参画社会はこうあってほしいとか、基本理念はこういうことを取り組んでいくべきでないかということなど考えていただいて、活発に議論いただいて郡上市らしい条例案を策定していただきたい。

4. 自己紹介

5. アドバイザーの紹介

6. 会長、副会長選出

- ・「(仮称)郡上市男女共同参画推進条例」策定委員会設置要綱第4条により、委員の中から互選。会長は推薦、副会長は会長の指名で決定。その後、会長・副会長あいさつ。

会長：平井 美津枝 副会長：池場 利廣

7. 議事

(1) 男女共同参画～これまでの経緯と郡上市の現状～

資料とプランに基づき説明。

(2) 今後の作業手順について

「(仮称)郡上市男女共同参画推進条例」の枠組みについて検討してきていただきたい。基本的な枠組みについて案を作成したので、近年に条例を策定した関市、山田市、戸田市の枠組みを参考に検討いただきたい。基本的な項目についてはほぼ入れたと思うが、第15条以下は各市の特徴的なものであり、郡上市に必要なものがあるかどうか検討してきていただきたい。また、他市の条文を項目ごとにまとめた資料を参考に、項目の意義や条文の内容を理解していただきたい。今回はこの枠組みについて話し合いたい。

(3) その他

各委員より意見感想等

- ・男女共同参画についてはよくわからないが、本日関わってみて、これからの未来ある子供たちにとって良い社会になるように思っている。
- ・すでにプランがあるので、プランの内容が盛り込まれた条例が必要でないかと思う。学校職員においては男女差はない。子供たちの指導についても男女差はない。郡上市の教育方針の中に、生命を大切に、助け合い協力し合って生きるなど盛り込まれており、そのように指導している。
- ・今の若いお母さんたちと関わる人が多いが、今のお母さんたちはとても強い。お父さんの方がやり込められている。安心して子育てしながら仕事ができる状況を、地域の見守り隊やおじいちゃんおばあちゃんたちで作っていただけるといいと思う。自治会のフォローも大切。昔の方が良かったかなと思う。3歳までは子供を愛情深く育てることができる社会を作ってほしい。仕事をしながら家事や育児をするということは大変なので、フォローし合える夫婦関係を作っていただけるといい。
- ・病人の介護施設が増えるといいということがアンケートに上がっていたが、自分も介護に関わっているので自分ができることから考えていきたい。子供が現在1歳であり、奥さんも働きたいと言っているので自分たちのこととして条例に関わっていきたい。
- ・女性の会でも発言の場も多いので、女性は恵まれていると思う。男女共同参画は大変奥が深く、文章にするということは難しい。
- ・男女共同参画は奥が深い。女性がどんどん上に上がっていくことができるように協力したい。
- ・男女共同参画については推進委員になるまで知らなかった。市民でもどの程度の人を知っているのかと思う。会社では人事にも関わっており、職場に女性も多いので、女性が働きやすい職場について考えている。女性が働きやすいということは、将来の担い手づくりにもなる。しかし、会

社にも女性に対する風潮があるので、会社も変わらないといけない。そうしないと問題は解消できない。育児で職場に出ることができない人に関心を持ってもらいたい。

- ・雇用の関係の仕事をしているが、郡上市は募集をしても応募者が少ない。男女共同参画ということで平等にできるよう条例を策定することによって男女共同参画の見直しができたらどうかと思う。
- ・「みんながともにいきいきと暮らせる社会」などプランの内容を盛り込まれるとよいかと思う。そんな郡上市になっていくとよい。
- ・幅広い立場の方からのご意見であった。男女共同参画に配慮されているなあという条例になるといい。うまく皆さんの意見をまとめていける作業ができるとよい。

8. 閉会

- ・副会長あいさつ

以上